

平成 14 年度の取り組み状況

相模原市では、平成 14 年 3 月の「新相模原市行政改革大綱」の見直しにあわせて新たに策定した「第二次実施計画～さがみの風～」に基づき、平成 14 年度から 16 年度までの 3 ヶ年を計画期間として、99 項目 118 件の改善項目を掲げ、事務事業の具体的な改善に取り組みました。

平成 14 年度の取り組み結果としては、97 件約 82.2%が予定どおり進み、この結果、市民サービスの向上や事務事業の効率化などが図られるとともに、約 7 億円の改善効果となりました。

計画が完了したもの	32 件 (27.1 パーセント)
予定通りに進んでいるもの	65 件 (55.1 パーセント)
やや遅れているもの	15 件 (12.7 パーセント)
遅れているもの	6 件 (5.1 パーセント)
合計	118 件 (100 パーセント)

平成 14 年度の主な取り組みは次のとおりです。

● 未来を見据えた確かな行政運営の推進

電子市役所実現への取り組み、事務事業の見直し、民間委託の推進など、社会の変化に対応した行政サービスの向上を図りました。

地理情報システムの拡充	タッチパネルシステムの稼働をし、窓口業務の効率化を図りました。
ビデオ広報の見直し	ビデオ広報の製作回数を見直し、内容の充実を図りました。
公民館のあり方の検討	職員 1 名を非常勤職員に切り替え、通年開館の試行などに取り組みました。
公立保育所の管理運営の見直し	保育園の民営化への取り組みや職員配置基準の見直し、非常勤職員の活用等による活性化を図りました。
給食調理業務の委託	新設小学校の給食調理業務の民間委託を行いました。
市営自動車駐車場の利用促進	全日定期利用の値下げ、平日定期の導入、利用時間の延長を行いました。

● **市民との協働による開かれた市政の確立**

開かれた市政の推進、身近で分かりやすい行政の推進、補助金の適正化などを進めました。

パブリックコメント制度の導入	パートナーシップ型まちづくり推進指針の策定にあわせ、パブリックコメント制度を導入しました。
受益と負担の適正化	使用料・手数料等について受益者負担の適正化と公正な費用負担の観点から見直しを実施しました。
市長と市民が語る会の実施	より多くの市民から意見を聞くために、「ボランティアと語る会」など、市民と語る会を4回開催しました。
補助金の適正化	行政の責任分野、経費負担のあり方等の観点から見直しを実施しました。

● **簡素で機能的な行財政システムの再構築**

組織・機構の簡素合理化、事務の合理化・効率化、定員管理、手当等の縮減による人件費の抑制などを行いました。

組織・機構の簡素化・合理化	14年4月 3課室の廃止、3課の新設
定数管理の適正化	14年4月 職員定数 4,110人（職員1人あたりの人口148.7人）
手当等の縮減による人件費の抑制	ノー残業デーの徹底等による時間外勤務の抑制を行いました。
歳入の確保対策	管理職職員による納税督促、滞納整理の推進に取り組みました。